

2019・10/19

しわの歴史・散策へどうぞ

志和中学校の生徒と史跡巡り

9月26日(水)

志和生涯学習センターの企画により、志和中学校1年生の生徒たちは郷土史研究会志和会の皆さんの案内で、東志和地域の史蹟散策に出かけました。

○並滝寺 金沢山 (なみたきじ)

並滝寺の住職さんの案内で山門へそこには、運慶作といわれている仁王像の立つ山門をくぐり、本堂へ案内していただきました。本堂内の天井に描かれている龍を見上げました。続いて庫裏に移動し、並滝寺の由来について住職の熱意あふれるお話を聞きました。

しわの魅力マップのNO27より

～天平5年(733年)聖武天皇の勅願により行基菩薩が開基したといわれています。往古は末寺四十八坊を有する大寺院であったが、大永五年(1525年)兵火により焼失しました。その後復興したが往時の十分の一の規模に留まりました。現在の本堂は明和8年(1771年)に再建されたものです。東広島市指定重要文化財の木彫地藏半跏像1躯、絹本着色釈迦涅槃図1幅があり、涅槃図は最古級の可能性があるといわれています。

○光源寺 生城山 (こうげんじ)

浄土真宗の特徴が表れている広い本堂の方に生徒全員は着席させてもらい、住職さんからお寺の歴史・建物の特徴・史蹟としての籠・額の由来等についてお話しいただきました。

しわの魅力マップのNO24より

～神亀元年(724)行基菩薩の弟子空円が生城山河曾都谷に一字を建立したのが創建であるといわれています。延暦3年(783)寺3代目僧空了の時、志和堀字十日市移転し、光福寺と称しました。応永年間(1394～1428)23代目僧正空の時、浄土真宗に改宗。寛永13年(1636)32代僧了存の時、光福寺より分流し、現在地に移り光源寺となりました。|

○石井城跡 (いしいじょうあと)

内区という地域の少し高台にありましたが、前日地域の方々が草刈りをして下さっていたおかげで、楽に上ることができました。ここで郷土史研究会志和会の方に史蹟について説明をしていただきました。そこからの眺めはとても心休まるものでした。

しわの魅力マップのNO28より

～東志和内区にあり、寺山城とも呼ばれています。城跡は比高50mの先端を利用して築かれており、遺構は複雑です。城主は石井氏で大内氏の下で活躍したが、大内氏滅亡の後は没落し、内村を去り、城も廃城となりました。城跡は慶長6年(1601年)内村検地帳では畠となっていました。現在は公園として整備され市民の憩いの場となっています。

○塚土古墳 (つかどこふん)

最後に訪れたのは、少し道から奥まったところにある古墳に行きました。ここでも郷土史研究会志和会の方に古墳についてお話ししてもらいました。

しわの魅力マップのNO29より

～志和を代表する古墳群で、現在3基が現存しています。いずれも円墳で埋葬施設は横穴式石室です。6世紀後半から7世紀後半にかけて築造されたと推定され、内川流域を治めた豪族の墳墓とされています。

○並滝寺



○光源寺



○石井城跡



○塚土古墳

